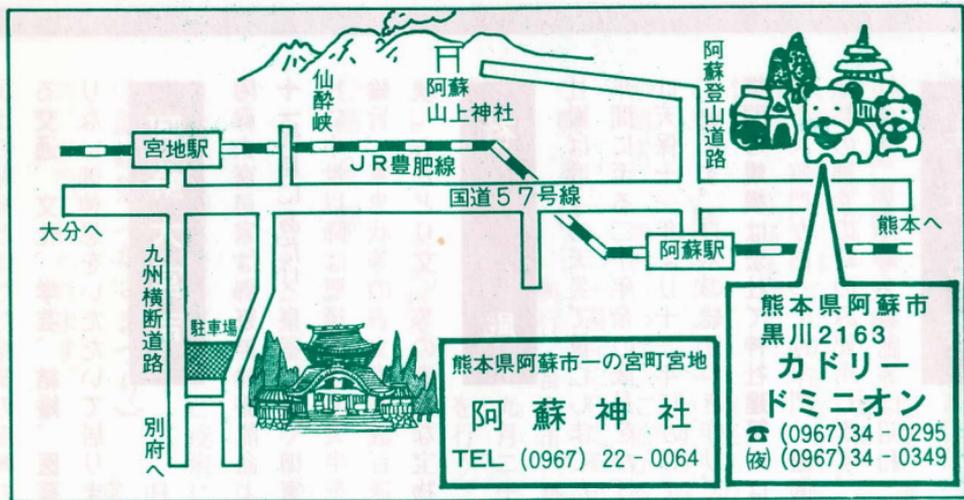


肥後一の宮

阿蘇神社





〔縁むすびの松〕

謡曲高砂で有名な阿蘇大宮司友成卿が1020年前に播州尾上から名高い松の実を持ち帰って植えた松。縁むすびに霊験があるとされております。

〔願かけ石〕

御祭神阿蘇大明神がもろもろの願いをこめて額づかれたといわれるこの石は願かけの石としてまつられております。

〔神の泉〕

一の宮町はむかしより地下水の噴出する「清泉の町」として知られておりました。境内の水は「神の泉」とよばれ不老長寿の水として多くの方に飲用されております。

熊本県阿蘇市一の宮町宮地

阿蘇神社

TEL (0967) 22 - 0064

熊本県阿蘇市
黒川2163

カドリー

ドミニオン

☎ (0967) 34 - 0295

(夜) (0967) 34 - 0349

ご祈願のすすめ

阿蘇神社では、毎日いろいろな願いをこめてお詣りされる方がたくさんいらっしゃいます。

当社では、ご希望に応じて願い事を受け付け、ご神前にてご祈願を行なっております。みなさまもご祈願をお受けになり一年間の御守護、開運を祈られることをおすすめいたします。

祈願の主なるものは、厄祓い・家内安全・安産・身体健康・子授け・良縁・初宮参り・還暦他賀寿祝い・学業成就・車禍交通安全・商売繁盛・病気平癒・工事安全祈願・五穀豊穡・牛馬安全等でございます。

みなさまおそろいでお詣り下さいますようご案内申し上げます。なお、御遠方の方は郵便・電話でも受け付けていたしております。

熊本県阿蘇市一の宮町宮地

TEL (0967) 22 - 0064

FAX (0967) 22 - 3463

阿蘇神社社務所

阿蘇神社御案内

御祭神

社記によれば阿蘇神社の御創立は孝靈天皇九年（紀元前二八一年）と伝えています。祀つてある神様は全部で十三座ですがその中で一、〇〇〇年の昔から歴史の本にも記載されている神様が三座居られますその神様の御名は

一の宮 健磐龍命たけいわたつのみこと（神武天皇様の孫神とつたえています）

二の宮 阿蘇都媛命あそつひめのみこと（一の宮御妃神）

十一の宮 國造速瓶玉命くくのみやつこはやみかたまのみこと（阿蘇初代の國造）

右三座の神様は他の神様より特に重く祀られて来て、これらの神様の御陵墓と云われて居る古墳が阿蘇神社より三キ口ほど離れた地点に点在しています。（中通古墳群と云い六世紀頃築造されたもの）
他の十座の神々は近親の神様です。

御神徳

古い昔の事ですがこの阿蘇谷は満々と水をたたえた湖水でありました。阿蘇大神健磐龍命は湖水の水を切つて落して美田を開き、農耕の道を教え国土の開拓に尽されました。十一世紀以降、肥後一の宮と仰がれ肥後の国の総鎮守神として県民の尊崇をうけられる様になりました。国土の開拓とはただ産業の振興のみならず吾々人間生活にかかわりある交通、文化、学芸、結婚、医業、厄除、等―生活守護の神として限らない御神恩をいただいで居ります。

阿蘇大宮司

阿蘇大宮司家は御祭神健磐龍命より綿々、累世、相継ぎ現大宮司は九十一代目にあたり、皇室に次ぐ旧家として世に知られています。

特に中世以降は肥後の国の大半を領有して皇朝のため尽すいし、御綸旨、軍忠状等の古文書も数百通保存してあり、足利尊氏の軍勢催促状「もとどり文」等の貴重な宝物も宝蔵されて居ます。

社殿は度々の天災で焼亡しましたが、天保六年より弘化、嘉永、安政年間に至る二十年余の歳月をかけ現在の社殿が建立されました。神殿は天保十一年より十三年にかけて三神殿、嘉永二年に楼門が竣工しています。白木の総けやき作りで見事な彫刻がほどこしてあります。楼門（ぼくもん）の規模は宏壮で神社建築には珍らしく二層の屋根になっています。また両脇門があつて神幸門・還御門といひ平常は閉じているが御田植祭の神幸の時のみ使用します。これは皇居の制にならつたと伝えられます。又拝殿・翼廊等は昭和二十三年の建築です。

主なる祭

阿蘇神社春・夏・秋に執行の三大祭は昭和五十七年重要無形民俗文化財として国の指定を受けました。

◇御田植神幸式祭

(おんだ)

四基の御神輿が出御され神幸式が行われます。青田の中を「宇奈利」や「獅子」の行列がつづき、都会にはないのどかなふんいきが見られます。毎年七月二十八日執行（ちまき授与）

◇春 祭（火ふり）

春祭りの行事 神様が結婚されるので、町民が始まり、境内いっばいに拡がる火の輪が見事です。

◇祭 あげ

一週間にわたる田作祭の最終日の祭。この日には露店興行、苗木市、農具市が立ち賑う。

◇田実祭（放生会）

九月二十五日 新穀を神に奉り、感謝の祭事を行う。古い時代から流鏝馬（やぶさめ）があります。（幸矢授与）

◇節分祭

二月節分の日 阿蘇神社独特の祭があります。豆をまぐ節分でなく、日本では二ヶ所しかないといわれるゴマ木を投げ与える神事であります。高さ二尺の芦塚を作り、この中に疫病の神をしずめる祭の後、とりくずしてゴマ木と一緒に投げる。これを家に持ち帰つてたくと疫病にかからないと伝えられています。

◇風鎮祭（かざまつり）

旧暦四月四日と旧の七月四日の二回、宮地、風の木風宮神社と手野風宮神社の二ヶ所で行われます。